

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



りゅーとぴあ・1コイン・コンサート vol.62
【2012.11.24/コンサートホール】

歌声が天使のような響きで、心も気持ちでいっぱいでした。ロシアの民俗衣装が素敵でした。「ふるさと」の合唱も良かった。1コイン・コンサートは何回も聴いていますが、毎回音楽を目と耳と心で楽しませてもらっています。
(新潟市/60代/男性)

今年最後の1コイン・コンサートにふさわしく、とても素晴らしいコンサートでした。「初恋」に涙が出て、「さくらさくら」でまたも…。最後の「ふるさと」では涙が止まらなかったです。ありがとう!!
(新潟市/60代/女性)



石丸由佳 オルガンリサイタル
【2012.10.21/コンサートホール】

バッハやメンデルスゾーンから現代音楽まで、オルガン曲の可能性が広く深く披露されている感じが堪能しました。大スクリーンで、鍵盤を弾く手の動きやペダルを踏む足の動きがよくわかりました。親しみやすく、良い演奏会でした。
(新潟市/50代/女性)

全体にすばらしいコンサートでした。私はバッハのファンなのですが、その他の曲もたいへん楽しく、特に現代曲はいつでも圧巻でした。
(新潟市/50代/男性)



葛河思潮社「浮標」
【2012.10.20/劇場】

揺れ動く心の葛藤を気迫あふれる演技で表現された田中哲司さんをはじめ、素晴らしい舞台でした。古い戯曲なのにそれを感じさせない、あつという間の4時間でした。
(柏崎市/40代/男性)

とても引き込まれて見ることができたので、4時間があつという間でした。出演者の方々のすべてが素晴らしいのですが、松雪泰子さんの存在感がすごすぎました。
(40代/女性)



二兎社「こんばんは、父さん」
【2012.11.18/劇場】

出演者の方それぞれの味が出ていて良かったです。世の中への風刺も込めて、暗い話なのにユーモアもあって、会話を楽しく聞くことができました。
(新潟市/50代/女性)

笑ったと思ったら、すぐまた父子のやりとりで引き込まれ、たまたまかけられるセリフに思わず涙が出ました。いろんな感情でいっぱいです。
(新潟市/30代/女性)

RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2013 Winter vol.31 | Life with Performing Arts



感動は自由席。

【CONTENTS】
Spotlight Interview 水谷八重子 ぶらりFURUMACHI
Noism Report 感動の余韻
Ryutopia Navigation 読者プレゼント
山本真希のオルガン世界紀行
りゅーとぴあカレンダー 2013 Winter

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント① イタリアンレストラン「リバージュ」(館内3F) ランチ券
プレゼント② 「茂山狂言公演」公演チケット
プレゼントチケットは3/29(金)19:00開演のA席となります。ご了承ください。

応募方法:ご希望の商品名(①「リバージュ」ランチ券、②「茂山狂言公演」公演チケット)、(1)住所、(2)氏名、(3)年齢、(4)職業、(5)電話番号、(6)本誌を入手した場所、(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.31プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2013年2月28日(木)必着

【編集後記】
新年あけましておめでとうございます。2013年、りゅーとぴあは開館15周年を迎えます。日頃ご愛顧いただいているお客さまへの感謝を込めて、15周年を記念した質の高い、バラエティ豊かな舞台芸術作品をお贈りしていきますので、どうぞ楽しみに。さて、今号の表紙は、新潟市ジュニア邦楽合奏団の上級合奏メンバーをモデルに能楽堂で撮影しました。3月に開催される新潟市ジュニア音楽教室スプリングコンサートで子どもたちの練習の成果をぜひお聴きください!(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。
新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、新潟館ネスパス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
■次号のりゅーとぴあマガジンvol.32は2013年4月1日発行予定です。

Rivage

イタリアンレストラン「リバージュ」3F
TEL 025-224-7022
営業時間/ランチ11:30~14:30
ディナー17:00~21:00(LO 20:00)

リバージュ特製 ~オムレツフェア~
1/4~2/28(ランチタイム・ディナータイム)

メニュー
★スワイガニのクリームソース オムレツ
★小海老のトマトソース オムレツ
★牛肉入り 特製デミグラスソース オムレツ
各、スープ・サラダ・コーヒー付
各¥1,200(税込)
※写真はイメージです。

※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00~19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00~19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30~18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

強い「りく」を演じたい

文学に描かれた、やさしく、美しく、強くしなやかに生きた日本の女たち。

彼女たちを日本を代表する女優たちが一人芝居として演じる、いや、「自身の物語」として、その生きざまを語ってもらう新シリーズです。その第1弾、大石内蔵助の妻りくに水谷八重子さんが挑みます。



写真:東浦一夫

——「花影の花」は大石内蔵助の妻「りく」の物語ですが、忠臣蔵のイメージは?

忠臣蔵で浮かぶのは錦兄(きんにい)。萬屋錦之介さんの内蔵助がホントにステキで…。私は南部坂の瑤泉院(ようぜんいん)と一力の太夫の役と2回やらせていただきました。「りく」役は林与一さんの内蔵助のとき、一番やりたい役でしたから「りくの役なら出ます」って(笑)。

——「りく」は仇討ちする気配のない内蔵助に仇討ちを勧める役どころといった解釈のものもありますか。

そういう差し出たところはなくて、逆に悟って悟っていくような…。それを今回は一人で表に出してやらなければなりません。忠臣蔵という大きな歴史ドラマの中の黒子のような女。その一生をいろんな見せ方でお見せしたい。今はそんな欲張りな気持ちになっています。

——「りく」をどう演じますか。

大切なものをみんな捨てて仇討ちする(内蔵助の)覚悟を知っている女性。知って最後まで生き抜く「りく」は強い。強い「りく」をお見せしたいです。

——演出の青井陽治さんとはこれまでもお仕事をされていますが、青井さんの印象は?

最初は自由にやらせておいて、後で手綱を締める。鵜飼いですね。自由に泳がせて鮎をいっぱい獲らせて、最後にぐっと締めて吐き出させる。私は鵜(笑)。

——ご自身でも演出をされますか。

演じている自分を冷静に見られないと役者は出来ません。例えば、今お客様が必要としているのは私でなくてこの人だ、その邪魔にならないようにそっと移動している、というような…。だから役者は日々演出家でもあるんです。

——演じている自分を見ている自分が同時にあると…。

本当に役になりきっていると、どこか冷めていて自分が自分にやらせているときと、それは役によって違います。ただ、まったく考え方が自分と違う役、私ならこうは感じないと思うのに、実際そうやってしまっている自分がいる。そういう瞬間があります。いったい何が乗り移ったのかしら、って。「りく」はそうありたいですね。

——一人芝居は常に自分に目が注がれ続ける、大変ですね。

自分一人で作ると思えばそう。お客さまを相手役と思えば、いい相手役で、相手役をつかんでしまえば、あとは楽しめます。ただ、いいお客さまにするのもしないのも自分次第なんですけど。

——いいお客になるには?

何か貰って帰ろうという貪欲な想いで観てほしい。ボーっと見ていられると、お近づきになりにくい(笑)。大阪のお客さまからは貪欲さを感じます。金払ろうたんや、その分楽しませえや、って(笑)。で、こっちもとにかく必死でやっちゃう。すると、ようやく、ようやく、と。

——新潟のお客さまも貪欲であたかいですか、安心ください。いい芝居を楽しみにしています。

取材・文:阿部聡

水谷八重子
Mizutani Yaeko / 女優

父は14代守田勘彌、母は初代水谷八重子。1955年16歳で新派・歌舞伎座で初舞台、同月ジャズ歌手としてレコードデビュー。新派の「佃の渡し」「深川不動」などの舞台はもちろん、ミュージカル・映画・TVなどで幅広く活躍中。受賞多数。2001年紫綬褒章・2009年旭日小綬章を受章。



りゅーとびあ発 “物語の女たち” シリーズ

第1弾 平岩弓枝『花影の花』～大石内蔵助の妻、りく～ Information

【公演日】2013年3月23日(土)・24日(日) 各日14:00開演 【会場】能楽堂
【原作】平岩弓枝『花影の花 大石内蔵助の妻』より 【上演台本】笹部博司 【演出】青井陽治
【チケット】全席指定¥4,500 2公演セット券¥8,000(第2弾の十朱幸代「燃えよ剣」とのセット券)
【発売日】一般1月19日(土)・会員1月17日(木)・パル1月12日(土)

※本シリーズは「燃えよ剣」十朱幸代さん(5月)、「黒い雨」奈良岡朋子さん(8月)、「蝉しぐれ」岸恵子さん(9月)と続きます。

一歩先の未来を見つめ、新時代の幕を開ける

研修生カンパニー・Noism2が誕生して丸三年。毎年春には定期公演を開催し、新潟県内ツアーの実施に、昨夏はサイトウ・キネン・フェスティバル松本へ出演も果たすなど、研鑽の日々の傍ら活動の場を大きく広げてきた。さらに、2013年夏シーズンからは体制も新たに再始動。確かな未来を目指し、次なる時代を切り開いてゆく。



「Noism2特別公演 in 浴火鳳凰」より 写真:村井勇

2009年9月、メインカンパニー・Noism1の下部組織として誕生した研修生カンパニー・Noism2。以来三年にわたる研鑽を経て、メインカンパニー入りを果たす精鋭もあらわれるなど、大きな飛躍に周囲の期待と視線は熱を増す。そんななか舞い込んできた、新たなニュース—2013年夏シーズンより、山田勇気・専属振付家兼リハーサル監督就任へ—。芸術監督・金森穰は、その意図をこう語る。



「これからNoism2が独自の活動をしていくためにも、常日頃一緒に創作をする振付家が必要。舞踊家にとって、振付家とのプロセスを踏むのは非常に大切なこと。彼らに父性を与え、次のステップを目指したい」

11月中旬、新潟市内にあるNoism2の稽古場では、すでに2013年春の定期公演に向けて創作活動が始まっていた。りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館から信濃川を越え、自転車で10分ほどの

場所にあるビルの一室。午前中はりゅーとびあ内にあるスタジオでNoism1と共にレッスンを受け、午後は専用の稽古場に移動しリハーサルを行うのが彼らの日課だ。現在、研修生は男女計8名。若いエネルギーの中に、笑顔で溶け込む山田の姿がある。

山田が創作の芽を開花させたのは、Noismメンバー時代に挑戦した振付ワークショップでのこと。その才能を、金森は当初から高く評価していたと話す。「最初にワークショップの作品を観た時に、彼に言いましたよ。才能があるんじゃないかって。振付家として、非常に面白いものを持っている。自分とはバックグラウンドも違うし、出目が違う。だから、あ、そうくるかという意外性がある。同時に共通するもの、基本的に踏まえているもの、自分が大切にしているのが見える」

2013年春の定期公演で発表するのは、音楽家・カンノケントの楽曲を使ったオリジナル作品。Noism2への振付は2010年の単独公演「DOVE」、2012年夏に『水と土の芸術祭』参加作品・王文志の『浴火鳳凰』で上演した特別公演に続く三作目となり、夏の専属振付家就任を控えたこの最新作に注目が寄せられる。また今回は山田の新作に加え、Noism1レパートリー『NINA—物質化する生け贄』から一部を上演。Noism1きぎの代表作であり難作を課題に掲げ、若き舞踊家の身体性とその本質を問いかける。



一方、2012年の年末には、Noism1と共に『中国の不思議な役人』への参加が予定されている。それはメインカンパニーと舞台に立つ貴重な場であると同時に、プロの舞踊家としてあるべき姿を間近で目にする得難い経験となるはずだ。「精神性と技術性を踏まえてはじめて、メインカンパニーを目指す資格ができる。研修生にとって、カンパニーのレパートリーを踊る実力があるのは当然のこと。まずは、変革。Noism1も、Noism2も変わっていかねば…」と、金森。

気の遠くなるような日々の果てに、ようやく手にする舞踊家としての光。それは瞬間の輝きでありながら、ときに永遠の美へ昇華を遂げる。道は、まだ開かれたばかり。しかしその行く手には、目指すべき確かな未来が広がっている。

取材・文:小野寺悦子

Noism2 春の定期公演2013

【日時】2013年2月22日(金) 19:00、23日(土)・24日(日) 17:00
【会場】りゅーとびあスタジオB 【入場料】全席自由¥1,500
【出演】Noism2
チケット発売中

■山田勇気 新作(タイトル未定)
演出振付:山田勇気 音楽:カンノケント
■Noism1レパートリー 『NINA—物質化する生け贄』(2005年)より
演出振付:金森穰 音楽:トン・タツ・アン

◆柏崎公演
【日時】2013年3月8日(金) 19:00
【会場】柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
【入場料】全席自由¥500
【問合せ先】柏崎市文化会館アルフォーレ
TEL.0257-21-0010

◆妙高公演
【日時】2013年3月9日(土) 19:00
【会場】妙高市文化ホール 大ホール
【入場料】全席自由¥500
【問合せ先】妙高市文化ホール
TEL.0255-72-9411

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/りゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

RYUTOPIA NAVIGATION2013 WINTER／SPRING

2013年冬～春のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

スダーン&東響が贈る本物のモーツァルト

第76回新潟定期演奏会／東京交響楽団
■2013.3.3(日)17:00開演 ■コンサートホール

モーツァルトの名曲を数多くお届けしてきた2012年度の新潟定期を締めくくるのは、音楽監督ユベール・スダーンと東響が一番得意とするモーツァルトづくしのプログラム。有名な歌劇『フィガロの結婚』の序曲やアリア、ヴァイオリン協奏曲第5番「トルコ風」、そして交響曲の大傑作「ブラハ」と、聴き逃さない名曲ばかりを集めてお届けします。ソリストを務めるヴァイオリンの戸田弥生、ソプラノの新垣有希子による華やかな演奏にもご期待ください。



ユベール・スダーン 戸田弥生 新垣有希子

チャイコフスキーの名曲に隠された重大な意味とは？

茂木大輔のオーケストラ・コンサート No.8
「チャイコフスキー交響曲第4番」徹底解説！
■2013.1.19(土)17:00開演 ■コンサートホール

豊富な解説演奏と大スクリーンに投影される映像で、名曲に隠された秘密を読み解く人気シリーズ。今回はチャイコフスキーが残した6つの交響曲の中でも、極めてドラマチックな「第4番」の魅力を掘り下げます。指揮とお話はN響の首席オーボエ奏者でもある茂木大輔。N響、日フィル、東京都響などの首席奏者を中心に結成される「もぎオケ交響団」の演奏はオーケストラファン必聴です！



茂木大輔

新春の聴き初めは アキラさんで決まり！

宮川彬良とアンサンブル・ベガ
りゅーとびあのニューイヤー・コンサート2013
■2013.1.6(日)16:00開演
■コンサートホール

「クインテット」(Eテレ)などでおなじみのアキラさんが、人気と実力を兼ね備えた演奏者ぞろいのアンサンブル・ベガを引き連れ、再びりゅーとびあへやります。華やかなサウンドで聴く幅広いジャンルの名曲とアキラさんの楽しいトークで、心あたたまる感動のひとつをどうぞ！また4歳から入場できる「子どもたちへ贈る“アキラさんのお年玉”」も同日開催。家族みんなで幸せ気分を満喫できます。



宮川彬良

家族みんなで楽しめる オルガン・コンサート

ニューイヤー・オルガン・ワンコイン・コンサート
■2013.1.13(日)11:30開演
■コンサートホール

りゅーとびあのパイプオルガンをまだ聴いたことがない方にぴったりのオルガン・コンサート。国内外で活躍するオルガニストの川越聡子が、親しみやすいトークと共に多彩なオルガン曲を演奏。また、りゅーとびあ専属オルガニストの山本真希がオルガンの仕組みや特徴をわかりやすくナビゲートします。入場料は中学生以上500円、小学生以下無料。4歳から入場できます。



川越聡子

オルガンで聴くロマン派の 巨匠たちの名曲

グレンツィングオルガンの魅力 No.15
「ロマン派の名作 — フランツ・リストとオペラの作品」
■2013.3.2(土)19:00開演
■コンサートホール

りゅーとびあ専属オルガニストの山本真希が、毎回テーマを設け、多彩なオルガン音楽をお届けしているリサイタルシリーズ。第15回は、フランツ・リストによる超絶技巧を駆使したロマンティックなオルガン作品と、オルガン用に編曲したオペラの名曲からなるプログラムをお贈りします。ロマン派時代を駆け抜けた巨匠たちの豪華で壮大な世界を、オルガンの多彩な響きでお聴きください。



山本真希

抱腹絶倒！ 楽しいイタリアの歌たち！

ヴェネツィアの歌のカーニヴァル！
■2013.2.17(日)15:00開演
■コンサートホール

ルネサンスからバロック時代のイタリアのおかしく、楽しい歌を集めて贈るコンサート。陽気な恋人たちや酔っぱらい、あげくの果てには動物たちまで登場して大騒ぎを繰り広げるマドリガル・コメディ(合唱喜劇)を、リュートの音色にのせて6人の歌手たちが面白おかしく歌い上げます。新潟市ジュニア合唱団の指揮者・海野美栄もソプラノで登場します。



彌勒忠史

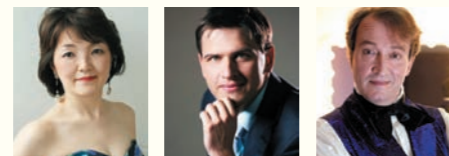


海野美栄

名作オペラのハイライトを コンサート形式で！

りゅーとびあオペラ劇場オペラコンサート2013
ドニゼッティ:歌劇《愛の妙薬》ハイライト(ピアノ版)
■2013.3.10(日)17:00開演 ■コンサートホール

音響のすぐれたコンサートホールで、ドニゼッティの名作オペラ《愛の妙薬》の聴きどころを集めたプログラムを楽しめるオペラコンサート。日本を代表するソプラノの高橋薫子ほか、ミラノのラ・スカラ座などで活躍するイタリアの歌手らをゲストに迎え、ベストメンバーで美しい旋律に満ちた歌の数々をお届けします。また、次世代の歌手を応援する「オペラ・マスタークラス」もあわせて開催。聴講もできます。



高橋薫子



ブラゴイ・ナコスキ



マッテオ・ペイローネ

新潟の子どもたちが奏でる 音楽の祭典！

新潟市ジュニア音楽教室
第9回スプリングコンサート
■2013.3.31(日)14:00開演
■コンサートホール

新潟市ジュニア音楽教室(邦楽合奏、合唱、オーケストラ)による、毎春恒例の合同コンサート。心をひとつに演奏する子どもたちの音楽には、プロの演奏でも味わえない爽やかな感動があります。新規団員も大募集。楽しい仲間たちが音楽の大好きなみんなの来るのを待っています。まずはスプリングコンサートで子どもたちの演奏をお聴きください。



さらに広がる「交流」の輪！いろんな演劇がりゅーとびあに大集合！

第3回 芸術のミナト☆新潟演劇祭
■2013.3.9(土)～3.20(水・祝) ■劇場、スタジオB、能楽堂 ほか

様々な演劇作品を短期間にギュッと凝縮してお届けしている新潟演劇祭。今回の見どころをご紹介します。

●バラエティ豊かな地元劇団が登場！

30年近い歴史を持つ地元新潟の老舗「劇団カタコンベ」と「劇団第二黎明期」。りゅーとびあ演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOTのOGによる「HARVEST」、演劇祭の常連「劇団@nDANTE」。新潟で活動するバラエティ豊かな劇団の公演を続けて観られるのは演劇祭ならではのお楽しみ！いろいろ見比べてお気に入りの劇団を見つけてください。



劇団カタコンベ 劇団@nDANTE

※上記以外にも新進若手演出家によるワークショップや演劇人たちによるトークセッションを開催！チケットがお得に手に入るパッケージチケットもありますので是非ご利用ください！

●東京・名古屋・京都から人気劇団が集結！

第1回演劇祭で強烈なインパクトを残した「柿喰う客」(東京)をはじめ、人気急上昇中の「オイスターズ」(名古屋)、「悪い芝居」(京都)がゲスト劇団として登場。それぞれの地域でももちろん、全国的にも評価の高い、勢いのある劇団が新潟に集います。県外で活躍する劇団が一堂に会する貴重な機会をお見逃しなく！



柿喰う客 オイスターズ 悪い芝居

●高校生と専門学校生の公演は入場無料！

毎回好評を得ている高校演劇部公演は、今年度の演劇県大会で優秀な成績を修めた高田北城高校と新潟南高校の2校に加え、福島県から高校生ならではの視点で震災体験を演劇化し、2011年に大きな話題を呼んだ「いわき総合高校演劇部」がゲストで参加。さらに、新潟市のi-MEDIA国際映像メディア専門学校俳優タレント科による作品も上演。いずれも無料で楽しめますので、フレッシュでエネルギッシュな若者の演劇に触れてみてください。



新潟南高校演劇部

感動作に子どもたちが挑む！

演劇スタジオ キッズ・コース
APRICOT 2013冬季公演
「名犬ラッシー」—スタジオ・トライアル版—
■2013.1.19(土)14:00・
20(日)13:00・17:00、
25(金)19:00・26(土)14:00・18:00開演
■スタジオA

小学生から高校生まで、元気いっぱいのAPRICOTメンバーたちが、2013年に挑むのは、少年ジョーと愛犬ラッシーの心の絆を描いた感動巨編「名犬ラッシー」。8月の公演に向け1年がかりで創り上げる本編の一部を、今回はスタジオでトライアル版として上演します。観る者の心を熱くする、子どもたちのまぶしい演技にご期待ください！



2012春季公演「お芝居探検隊」より

人気の能楽講座のスペシャル版に 世阿弥の名作が登場！

「馬場あき子 能楽の愉しみ」スペシャル版
■2013.2.16(土)13:00開演
■能楽堂

歌人・馬場あき子が能の魅力をわかりやすく解説する人気の能楽講座のスペシャル版。今回は能の大成者・世阿弥の生誕650年を記念し、能「山姥(やまんば)」を上演します。「山姥」は新潟が舞台となった数少ない能のひとつで、世阿弥の傑作として高い評価を得ている名作です。古典への造詣が深い馬場あき子が解き明かす世阿弥の作品世界を、塩津哲生(シテ方喜多流)の能と共にたっぷりご堪能ください。



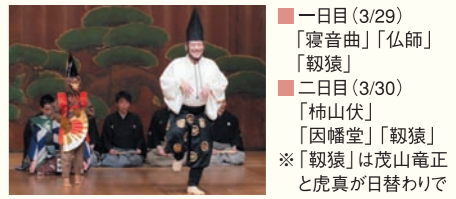
能「山姥」

茂山家の親子三代共演！双子競演！

茂山狂言公演「靱猿」
■2013.3.29(金)19:00開演・
30(土)13:00開演
■能楽堂

新潟の茂山狂言ファンのみなさま、お待たせしました！やわらかくて楽しい「お豆腐狂言」で人気の茂山家が、春の訪れと共にやってきます。見どころは、茂山家の親子三代共演となる「靱猿(うつぼざら)」。

茂山家の小さな双子の狂言師が、本格的なデビューを果たします。かわいながらも懸命な演技をどうぞお楽しみに！



狂言「靱猿」

五人囃子の音楽を聴いたことがありますか？

りゅーとびあの雑まつり
「能楽堂で楽しむ五人囃子」
■2013.3.3(日)14:00開演
■能楽堂

ひな人形の「五人囃子」は、謡・笛・小鼓・大鼓・太鼓という、能の音楽を奏でる5人の楽人が由来なのをご存知ですか？りゅーとびあでは、今年の雑まつりに「リアル五人囃子」のコンサートを、和の空間・能楽堂で開催します。楽器についての解説や、能のお話も楽しめる90分。ご来場者全員にオリジナル和菓子プレゼント、さらに着物でご来場の方にはドリンクサービスの特典付きです！



狂言のセリフや動きを楽しく体験！

狂言ワークショップ
■2013.2.5(火)18:00開始
■能楽堂

能楽堂の舞台上上がり、狂言師のセリフや動きなどを楽しめる人気の体験講座です。「野村万作・萬斎狂言公演」でもおなじみの狂言師・深田博治さんと月崎晴夫さんが講師を務め、実演も披露します。狂言の魅力をもっと深く知りたい方も、狂言をまだ観たことがない方も楽しめます。対象は小学生以上ですので、お子さんやお孫さんと一緒に参加も大歓迎です。



能楽堂を子どもたちに大公開！

こども能楽たいけん☆ワークショップ
「さわってみよう能の世界」
■2013.3.27(水)13:00開始
■能楽堂

子どもたちが楽しみながら能の魅力に触れることのできる、春休み恒例の能楽体験企画。白足袋を履いて能舞台の上を歩いたり、能の楽器演奏を体験したりできるほか、ダイナミックな能「土蜘蛛」を鑑賞できます。対象は小・中学生。保護者の方も見学できます。参加費無料ですので、お友だちも誘って日本の伝統芸能・能楽の世界をみんなで体験してください。





ブダペストのオペラハウス前にて。サットマリー先生ご夫妻(前列左のお二人)、門下生のみなさんと(後列一番右が筆者)

山本真希のオルガン世界紀行

文 山本 真希 (りゅーとびあ専属オルガニスト)

vol.11

ハンガリー、ブダペスト ～サットマリー先生の門下生たちと訪れた町～

ドイツ・フライブルグの音大でお世話になったジグモント・サットマリー先生は、ハンガリー出身。来日も多く、日本でもよく知られているオルガニストで、前衛音楽のスペシャリストとして名高い作曲家です。阪神淡路大震災や東日本大震災に際しては、犠牲者の方々への追悼の意を込めて捧げられた作品があり、義援金を募るチャリティー公演も日本で行われました。日本人の弟子も数多く、大学を退職された今も、ヨーロッパを中心に世界各地で幅広い活躍を続けられています。

フライブルグで学んでいた時、オルガン見学を兼ねて、先生が門下生全員をハンガリーのお宅へ招待して下さったことがありました。フライブルグからハンガリーの首都ブダペストまではバスで18時間。ブダペストに着いた時はすっかり真夜中でした。町はドナウ川を挟んで“ブダ”側と“ペスト”側に分かれていて、ライオン像が鎮座する美しくライトアップされたタクリ橋を渡って先生のお宅へと向かいました。一週間の滞在中、町の名所を多く訪れ、オペラやパレ

工を堪能しました。偉大なピアニストとして有名なフランツ・リストの記念館や、豪華で由緒あるリスト音楽院、大聖堂にも出かけ、オルガンを見学しました。

また、町からバスで30分ほどのアキムクには、ローマ時代に築かれた町の遺跡があります。野外博物館として展示されている建物や浴場のほか、発見され復元された古代のオルガンも展示されていました。夜は皆で町を散歩。ブダの丘から眺める、ペスト側に広がる壮麗な国会議事堂やくさり橋がライトアップされた姿は“ドナウの真珠”と呼ばれるにふさわしい美しさでした。

先生が学生だった時、共産圏の国では充分な勉強が続けられず、音楽家としての将来を考えて研鑽を積むために、故郷を捨てる覚悟で西ドイツへ向かったそうです。大きな愛情に包まれて、のびのびと学べた私のフライブルグでの日々と比べると、想像もつかない状況です。激動の中を生きぬいた人々が築き伝えてきたものや旧共産圏の雰囲気や垣間見ることが出来た、貴重で思い出深い旅となりました。

PROFILE Yamamoto Maki
大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。りゅーとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学オルガン科講師。新潟市在住。



オルガン・インフォメーション

- 山本真希オルガンリサイタルシリーズ グレンツィングオルガンの魅力No.15 「ロマン派の名作—フランツ・リストとオペラの作品」(3/2) ※公演情報の詳細は「りゅーとびあカレンダー」をご覧ください。
- 山本真希のCD「グレンツィングオルガンの魅力」(税込定価2,500円) りゅーとびあ2Fインフォメーションで好評発売中!

ただいま本番中! in りゅーとびあ

りゅーとびあで本番を迎える市民のみなさまの活動の様子をご紹介します。



3つの女声合唱団によるコンサート 11月3日(土)【コンサートホール】

嵐の合間の好天に恵まれた秋日、宇都宮・多摩・新潟の3つの都市の女声合唱団によるジョイントコンサートが、新潟の女声合唱団「フェリーチェ」の主催で開かれました。

全国大会出場経験を持つ3団体のみなさんに、コンサートホールで歌ってみた感想をうかがうと、「ピアノニッシモの小さな音まできれいに響く」「いつかパイオルガンと合わせてミサ曲を歌ってみたい」「地元にもこんなホールが欲しい!」などの声が寄せられました。また舞台監督さんからは「スタッフの対応がすばらしく、裏方ながら演奏会を楽しめた」と、この

上なく嬉しい感想をいただきました。ご利用方法を工夫すれば、コンサートホールの大舞台で演奏することも夢ではありません。施設利用の申込方法から舞台設備に関することまで、スタッフが親切丁寧にご案内いたしますので、お気軽にご相談ください。

舞台芸術の公演時は、レセプション(客席案内係)がお客様のご案内を承ります。楽屋10室(ピアノ付楽屋有り)、搬入口11トントラック駐車可能。クラシックコンサート・各種発表会・講演会等にご利用いただけます。

施設利用のお問合せは、りゅーとびあ施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621 (9:30~18:00)

りゅーとびあ SHOP 通信

りゅーとびあSHOP(館内2F インフォメーション)
営業時間 11:00~19:00(休館日を除く)

【りゅーとびあオリジナル傘】

りゅーとびあ2階にあるインフォメーション・SHOPの隠れたロングセラーのひとつです。色はワイン・ベージュ・スモーキーベージュの3種類。ご来館の記念に、突然の雨や雪に、ぜひお求めください。



ワンタッチで開くのでとても便利!

りゅーとびあオリジナルロゴ入り!

定価¥400(税込)

※古町(FURUMACHI):りゅーとびあに一番近い老舗商店街

ぶらりFURUMACHI

文・イラスト:迫一成(hickory03travelers)

vol.11

「上古町は和風?」

こんにちは。新潟生活16年目の迫です。先日、ご近所の伊勢屋団子屋のおばちゃん「うちは、しょうゆ団子焼きたてだからね～」という話をしました。焼きたての団子を買いにわざわざ遠くからやってくる人がいるのです。しょうゆ団子はどこでも簡単に手に入ります。にもかかわらず、上古町のここで団子が食べたい。うれしいことですね。そういえば上古町は和菓子屋、和服屋も多いです。靴屋さんもあるしお茶屋さんも。あれあれ、今まで上古町は「和風?洋風?」なんて考えることはなかったのですが、どちらかというと、いやかなり「和風」ですね。門前町ということもあるし、長屋もあるし小路もある。構造がきつと日本的なんですね。街が作られた時代や歴史にもよると思うのですが、家屋のサイズ、道幅など空間サイズが「ちょうどよい」空気を作っている気がします。今月も、わざわざ関東から上古町にいらした方がたくさんいて、とてもいいところだと気に入ってくださいました。きつとそう感じた



背景には隠し味のような和風の雰囲気効いているんでしょうね。和風。悪くないですね。上古町が潜在的に持っている残すべきことは大切にし、寒さにも時代にも負けずいろいろチャレンジしたいものです。まずは、焼きたてのしょうゆ団子でも食べようと思います。当分、個人的に団子ブームな気がします。

PROFILE Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔軟に活動中。
<http://www.h03tr.com>

RYUTOPIA Before? After?



りゅーとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りた「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

トウギンヤ

昭和元年の創業時は、ろうそくや雑貨、服、化粧品などを取り扱うよる屋だったトウギンヤ(当時は「雷銀屋」と表記)。戦後、2代目によってメンズ服専門店となりました。気さくな現店主(3代目)は「普通っていうんじゃなくて、ちょっと変わった商品を、安く提供する」ことを心がけているとのこと。そんなトウギンヤの一押し商品は、店頭に並べられたユーモラスなTシャツ(2枚で1,050円)。



店内ではジェームス・ディーンのポスターがお出迎え。



新潟市中央区古町通4番町646
TEL 025-222-8339
【営業時間】11:00~19:00
【休日】不定期

パートナーショップ特典 10%割引

パートナーショップとは?

りゅーとびあで開催された公演チケットが、りゅーとびあ友の会 N-PAC mate 会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。詳細はりゅーとびあホームページでご確認ください。※公演によっては対象外のものもございます。

にいがた世界の蘭展 2013

Niigata World Orchid Show 2013

日本海側最大の蘭展

2013年3月5日(火)~10日(日)

開場時間:9:30~16:30

会場:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

入場料(税込) 前売券 1,200円 当日券 1,500円 ※小学生以下は無料

主催:にいがた世界の蘭展2013実行委員会、TeNYテレビ新潟、サントピアワールド
共催:朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
特別協賛: 第四銀行 福田組
協賛:新潟クボタ、大和ハウス工業(株) 新潟支店 セコム上信越、エヌ・エム・アイ グリーンキング&トップドレッシング、メルシー

特別展示 世界初! 青い胡蝶蘭 協力:千葉大学大学院園芸学研究所 開花状況により展示内容が変更となる場合がございます。

お問合せ にいがた世界の蘭展2013実行委員会 TEL 025-283-1288

ミュンシャ展

バリの夢 モラヴィアの祈り
Alphonse Mucha: An Insight into the Artist

2013年6月1日(土)~8月11日(日)

会場:新潟県立万代島美術館

開催決定!

19世紀末のアールスラー・ヌーヴォーを代表するミュンシャの、優美な女性像など、装飾性豊かな作品をご紹介します。

ミュンシャ財団が秘蔵するファミリーコレクションより、日本初公開作品を含む、珠玉の作品およそ240点が集結。

前売券 3月下旬発売予定 お問合せ 新潟県立万代島美術館 TEL 025-290-6655
主催:ミュンシャ財団、TeNYテレビ新潟、他 後援:チェコ共和国大使館 特別協賛:木下工務店 協賛:大日本印刷、日本興亜損保

<http://www.teny.co.jp/> 詳しくは、TeNYのホームページ「イベント情報」をチェック!!

